

陸上：シンスプリント予防のための調査とバイオメカニクス

シンスプリントは脛の内側が痛み、陸上競技で多くみられます。

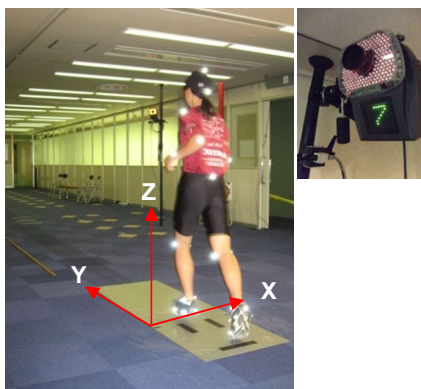
市内中学陸上部 77名の調査

身体機能測定

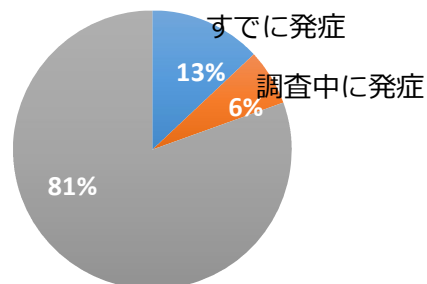


- 体格
- 股関節筋力
- 足部アライメント

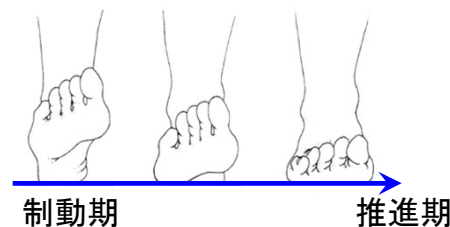
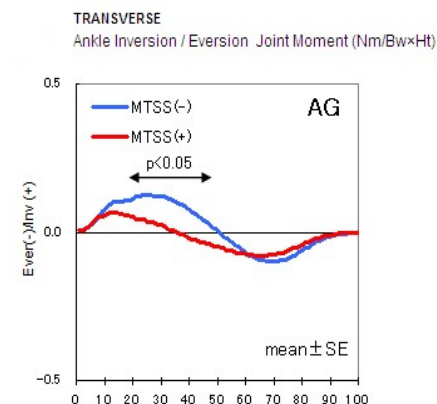
走動作測定



発生率



足部の動きの違い



わかったこと

- シンスプリントを発症した人は股関節の柔軟性が高かった
- 足が接地した時、股関節が内側に入りやすかった
- 接地したときに足がはやく内側に倒れていた

学会発表
論文投稿

「中学陸上競技者のシンスプリント発症要因に関するバイオメカニクス的研究」日本臨床スポーツ医学会学術集会,2009

「シンスプリントに関する疫学的研究-11年間の診療データからの検討-」日本整形外科スポーツ医学会雑誌,2011

「床反力からみた中学陸上競技者のシンスプリント発症に関する前方視的研究」学校教育学研究論集,2011

「シンスプリント症例のX線足部内側アーチ高から見る発症メカニズムの推測」日本整形外科スポーツ医学会学術集会,2011